

案内

コミュニティ・メンタルヘルス・
アウトリーチ協会

第4回金沢大会（ハイブリッド開催）

日時：5月30日（土）～31日（日）

※一部、後日オンデマンド配信予定

会場：金沢医科大学病院・金沢医科大学
（石川県河北郡内灘町）

テーマ：地域で支え合う底力を見てくれん
け！

プログラム：大会長講演「つながり合う中
で生まれるもの」長山豊（金沢医科大学）／
教育講演1「日本のアウトリーチ支援の現
在と課題」吉田光爾（東洋大学）／2「コミュ
ニティでウェルビーイングを高める知恵」塩
谷亨（金沢工業大学心理科学研究所）、平山
美和子（株式会社メンタルヘルスネクステ
ージ）／シンポジウム1「アウトリーチ再考」伊
藤順一郎（メンタルヘルス診療所しほ
ふぁーれ）、萱間真美（国立健康危機管理研
究機構国立看護大学校）、金井浩一（一般社
団法人ライフラボ相談支援事業所しほふぁ
ーれ）／2「アウトリーチをどう社会に実装す
るか」進あすか（トキノ株式会社訪問看護ス
テーションみのり）、角谷圭太郎（GENESIS
株式会社G-ACT）、蔭西操（石川県精神保
健福祉士会、加賀こころの病院）、増川ねて
る（WRAPアドバンスレベルファシリテーター、
ピアサポーター）／3「支援が届きにくい人
への支援—精神疾患をもつ人と共に暮ら
す家族」岡由希子（かのあ訪問看護ステー
ション）、中谷賢宗（石川県精神保健福祉家
族会連合会）、荒木裕美子（精神疾患をもつ
人のパートナーの会@金沢）／4「支援が届
きにくい人への支援—ひきこもり・ヤングケ
アラ—」林昌則（一般社団法人いまこ親の
会ひきこもりソーシャルプロダクション）、本間
雅代（家族とひきこもりを考えるKH北陸会）、
五十嵐峰子（ヤングケアラ—プロジェクトいし
かわ）／5「災害からの復興を見据えたアウ
トリーチ」宮本満寛（らいう訪問看護ステー
ション）、米倉一磨（相馬広域こころのケアセ
ンターなごみ）、田中浩二（金沢大学医薬保
健研究域保健学系）／6「地域の特性や文
化に根差した居場所づくり」木谷昌平（一
般社団法人ななお・なかのと就労支援セン
ター）、奥山純一（株式会社CACL）、別宗
利哉（GENESIS株式会社、石川県精神障害
者フットサルクラブルミナス、一般社団法人
FSVスポーツアカデミーヴィンセドル白山フ
ットサルクラブ）／ほか

申込期間：7月31日（金）まで

参加費：個人正会員・チーム正会員・個
人賛助会員・団体賛助会員1万円、非会
員・法人正会員1万2000円、大学院生
8000円、当事者・家族・市民・学生
2000円

※当日申込の場合は現地で現金払い

※大学院生・学生は学生証の提示要

問い合わせ先：実行委員会事務局

E-mail：outreachnet.zenkokutai@
gmail.com

URL：https://sites.google.com/view/
outreachnetkanazawataikai4

案内

第20回

日本慢性看護学会学術集会

日時：7月11日（土）～12日（日）

会場：岡山コンベンションセンター（岡山
市）

テーマ：ともに創る・ともに奏でる

プログラム：大会長講演「ともに創る・と
もに奏でる—慢性看護の未来に向けて」森
本美智子（岡山大学学術研究院保健学域教
授）／基調講演「慢性疾患のトラジェク
トリーに沿った意思決定支援：臨床倫理の
視点から」清水哲郎（臨床倫理研究所代表
理事）／教育講演1「患者・医療者が協働
する医療」山口育子（認定NPO法人ささ
あい医療人権センターCOML代表）／2「住
民・多職種でともに創る地域医療—地域
に根ざした慢性期ケアのデザインとは」吉
村学（都農町国民健康保険病院院長）／3
「未来に向けてともに育つ！—非認知能力
を伸ばすコツ—」中山芳一（All HEROs合
同会社代表）／教育セミナー「異文化間対人
関係形成—患者の文化を理解しともに歩
む」田中共子（岡山大学社会文化科学研究
科教授）／当事者参加型教育セミナー1
「ALSをもつ人々の語りと看護—その人らし
く生きる人々の生活と看護」河原学（日本
ALS協会岡山県支部支部長）、トーマス・
ギャビン（日本ALS協会岡山県支部副支部
長）、木村古都（南岡山医療センター看護
部）、鶴川ゆみ（南岡山医療センター看護
部）／2「糖尿病と生きる—1型糖尿病を持
つ人とその家族の軌跡から共創を考える」1
型糖尿病をもつ患者さんとそのご家族、園
田由美（川崎医療福祉大学保健看護学部保
健看護学科准教授、慢性疾患看護専門看護
師）／3「腎臓病のある身体とともに生きる：

当事者のまなざし、看護のまなざし」田中
順也（堺市立総合医療センター看護局・師長、
慢性疾患看護専門看護師）、大西康博（岡山
大学学術研究院医歯薬学域慢性腎不全総合治
療学講座助教）／シンポジウム1「慢性疾患
とがんを併発した患者への看護—連携協
働から創りだすプラクティス」小林志津江
（広島市立北部医療センター安佐市民病院救
命救急病棟主任看護師、心不全看護認定看護
師）、渡辺陽子（川崎医療福祉大学保健看護
学部助教、がん看護専門看護師）、山尾美
希（あさか診療所、慢性疾患看護専門看護
師）／2「慢性看護のフロントランナー—慢
性看護の知を創る・広める」猪飼やす子
（山梨県立大学看護学部成人・老年実践応用
看護学領域慢性期看護学准教授、慢性疾患
看護専門看護師）、落合亮太（筑波大学医学医
療系教授）、加澤佳奈（広島大学大学院医系
科学研究科教授、慢性疾患看護専門看護師）
／ほか

参加登録期間：[前期]5月29日（金）まで、
[後期]6月15日（月）～7月24日（金）
参加費：[前期]会員1万円、非会員1万
2000円、[後期]会員1万1000円、[非
会員]1万3000円、大学院生はいずれも
8000円、一般学生（大学、専門学生）は
いずれも3000円

※一般学生は登録後3日以内に学生証
の写しを運営事務局までメール添付で送
る。当日受付の場合は学生証の提示要
問い合わせ先：運営事務局 株式会社
キョードープラス
〒700-0976 岡山県岡山市北区辰巳
20-110
TEL：086-250-7681
E-mail：jscn20@kwcs.jp
URL：https://www.kwcs.jp/jscn20/
index.html

案内

第32回

日本看護診断学会学術大会

日時：7月18日（土）～19日（日）

会場：京都府立京都学・歴史館、稲盛記
念会館（いずれも京都市）

テーマ：新時代の看護のかたち—看護の
質保証に向けて

プログラム：大会長講演「新時代の看護
のかたち—看護の質保証に向けて」吉岡
さおり（京都府立医科大学）／特別講演1
「西田哲学の人間理解—看護のかたちを

つかむ一助として」浅見洋(西田幾多郎記念哲学館館長)／2「若年就業者の定着と成長を促すオンボーディング」尾形真美哉(甲南大学)／3「禅に学ぶ、穏やかで豊かなこころの在り方」松山大耕(妙心寺退蔵院副住職)／教育講演1「看護実践の質保証の方策—AIの活用」新居学(兵庫県立大学)／2「NANDA-Iの新たな挑戦—看護の質保証」上鶴重美(看護ラボラトリー)／シンポジウム1「看護基礎教育における看護過程教育」細田泰子(大阪公立大学)、齊藤奈緒(宮城大学)、北野華奈恵(福井大学)／2「現場で磨く『患者像をつかむ力』—各施設の実践と課題から考える看護職の育成」岩崎由美子(京都市立病院)、田島正恵(京都府立医科大学附属病院)、本田裕美(東京医科大学病院)／ほか
参加登録期間：[事前]5月31日(日)12:00まで、[一般]6月1日(月)12:00～7月19日(日)
参加費：[事前]会員1万円、非会員1万2000円、[一般]1万1000円、1万3000円、学生はいずれも1000円
※学生は、基礎教育課程の学生(有資格者は除く)。大学院生、社会人学生は学生での登録は不可
問い合わせ先：大会事務局
〒602-8566 京都府京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465 京都府立医科大学医学部看護学科内
E-mail：jsnd32@koto.kpu-m.ac.jp
URL：https://jsnd-kango.jp/academic_conference2026/

案内

日本看護学教育学会 第36回学術集会(ハイブリッド開催)

日時：8月29日(土)～30日(日)
会場：大阪国際会議場(大阪市)
テーマ：看護学教育における革新と伝承
プログラム：会長講演「看護学教育における革新と伝承」池西悦子(大阪医科薬科大学看護学部教授)／基調講演「生成AI時代における専門職の働き方と人材育成」藤本昌代(同志社大学社会学部教授)／特別講演「暗黙知の伝承と『わざ言語』—未来の教育への新たなアプローチ」北村勝朗(日本大学大学院スポーツ科学研究科教授)／教育講演1「VUCAの時代を生き抜く学生たちに必要な能力と教育の実践」／2「越境の学びを看護の新たな知の創造につな

げる—相互作用による知の循環と変革を促す人材育成の視点から」伊達洋駆(株式会社ビジネスリサーチラボ代表取締役、東京大学大学院情報学環特任研究員)／3「個別最適化時代におけるプロフェッショナルリズム教育の挑戦」佐野陸夫(大阪工業大学情報科学部特任教授)／市民公開講座「酒づくりにおける革新と伝承」高橋俊成(菊正宗酒造株式会社総合研究所所長)／シンポジウム1「地域包括ケアを担う看護職教育における革新—現任教育の先進的取り組みと基礎教育への期待」／2「これからのキャリア教育—多様化・デジタル化時代の看護師キャリア支援」／3「臨地実習で活躍するCNE(Clinical Nurse Educator)・臨床教員の現在地と挑戦」／4「看護学で世界とつながる：国際交流の実際と将来的可能性—Connecting with the world through nursing: International exchanges in practice and future possibilities」／5「高度実践看護師教育の革新—実践と研究の架け橋となるDNPに焦点をあてて」
参加登録期間：[第1次]5月31日(日)まで、[第2次]6月1日(月)～10月16日(金)
※オンデマンド配信期間は9月15日(火)～10月16日(金)予定
参加費：[第1次]会員1万1000円、非会員1万3000円、[第2次]会員1万3000円、非会員1万5000円、学生はいずれも無料
※学生は社会人学生および大学院生を除く。当日、受付にて学生証提示要
問い合わせ先：運営事務局 株式会社インターグループ
〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3-20-1
TEL：06-6372-3052(平日10:00～17:00)
FAX：06-6376-2362
E-mail：jane36@intergroup.co.jp
URL：https://jane36.umin.jp/index.html

案内
日本家族看護学会
第33回学術集会(ハイブリッド開催)
日時：8月29日(土)～30日(日)
会場：高知市文化プラザからのぼりと(高知県高知市)

テーマ：コンフリクトから調和を生み出す家族との伴走
プログラム：会長講演「コンフリクトから調和を生み出す家族との伴走」瓜生浩子(高知県立大学看護学部教授)／特別講演「“見えない障害”が家族に巻き起す不調和とともに生きる」柴本礼(一般社団法人日本ケアラー連盟理事、イラストレーター)／教育講演1「システムとしての家族に生じるコンフリクトと成長」中垣真通(子どもの虹情報研修センター研究部長、日本家族療法学会教育研修委員)／2「調和を生み出すためのバウンダリーへの注目と家族メディアーションの試み」渡辺裕子(NPO法人日本家族関係・人間関係サポート協会理事長)／シンポジウム1「コンフリクトをどう読み解くか—臨床哲学・法律・経営の視点から考える」堀江剛(大阪大学大学院人文科学研究科教授)、吉田満梨(神戸大学大学院経営学研究科教授)、中島香織(あさひの風法律事務所弁護士)／2「コンフリクトを抱える家族に調和を生み出す家族支援専門看護師のわざ」関隆裕(株式会社総合医療サポート訪問看護ステーションいちごの花家族支援専門看護師)、星川理恵(高知大学医学部附属病院家族支援専門看護師)、野々山敦夫(愛知県医療療育総合センター中央病院家族支援専門看護師)／市民公開講座
参加登録期間：[事前]8月28日(金)17:00まで、[当日]8月29日(土)～8月30日(日)、[オンデマンド配信のみ]8月31日(月)～10月23日(金)17:00
参加費：[事前]会員1万円、非会員1万1000円、学生(院生を除く)1000円、[当日]会員1万1000円、非会員1万2000円、学生(院生を除く)2000円、[オンデマンド配信のみ]会員7000円、非会員8000円、学生(院生を除く)1000円
※学生は登録時に学生証の添付要
問い合わせ先：運営事務局 株式会社プロコムインターナショナル
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9F
TEL：03-5520-8821
FAX：03-5520-8820
E-mail：jarfn33@procom-i.jp
URL：https://procomu.jp/jarfn2026/index.html

*掲載情報は2026年4月15日時点の内容です。学会開催の有無など、最新の情報は主催元にご確認ください。